

北海道ポーランド文化協会 《第78回例会》



札幌大谷学園百周年記念館同窓会ホール

2016年10月2日(日)

13:30開演

——— 後 援 ———

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、国立音楽大学北海道同調会
日本ピアノ教育連盟、札幌音楽家協議会、北海道国際音楽交流協会(ハイメス)
日本アレンスキー協会、札幌市・札幌市教育委員会

プログラム

- 《お話 1》 加藤 一郎
- ♪ F.クープラン:クラヴサン曲集 第1巻第5組曲イ長調より〈ロジヴィエール〉 加藤 一郎
J.S.バッハ:フランス組曲第2番ハ短調より〈アルマンド〉
- ♪ ショパン:練習曲 変ホ長調 作品 10-11 久保田 友
ノクターン 嬰へ長調 作品 15-2
- ♪ ショパン:バラード第1番 ト短調 作品 23 國谷 聖香
休憩
- 《お話 2》 加藤 一郎
- ♪ ショパン:練習曲 変ホ短調 作品 10-6 坂田 朋優
ノクターン ロ長調 作品 62-1
- ♪ ショパン:ソナタ第3番 ロ短調 作品 58 長崎 結美
- ♪ ショパン:バラード第4番 へ短調 作品 52 田口 綾子

お話要旨

初期ロマン派の時代にピアノの大家として活躍した F.ショパンの音楽にはバロック及び前古典派の音楽言語からの影響が見られる。

スティル・ブリゼとは、17世紀にフランスのリュート音楽の分野に起こった分散奏法のこと、それを同時代のフランスのクラヴサン奏者や、J.S.バッハに至るドイツの音楽家が主に鍵盤音楽の分野に取り入れた。優美で即興的な趣味に富むこの技法を、ショパンはまず旋律の中の和声音を保持する基本的な方法として用い、オクターヴの分散化や高度な対位法との融合等の方法でピアノ技法に様式化した。



出演者プロフィール

加藤 一郎 (かとう いちろう) お話とピアノ



東京芸術大学器楽科ピアノ専攻卒業、ヴィンタートゥア音楽院ソリストコース留学、金沢大学、愛知県立芸術大学等を経て、現在、国立音楽大学准教授として後進の指導にあたっている。リサイタル、協奏曲、室内楽、伴奏等の演奏活動、及び NHK テレビ・ラジオ等に出演。著書に『ショパンのピアニスム』、『教養としてのバッハ 生涯・時代・音楽を学ぶ 14 講』(共著)他、ショパン及びバッハ研究を中心に論文多数。国内外のコンクール審査やマスタークラス、公開レッスン、公開講座講師を務める。日本学術振興会科学研究費補助金受給。文部科学省科学研究費専門委員、公益財団法人日本ピアノ教育連盟評議員を歴任。

久保田 友 (くぼた ゆう)

札幌北斗高等学校卒業。現在札幌大谷大学芸術学部音楽学科ピアノコース2年在学中。ピアノを坂口睦、岡本孝慈の各氏に師事。



國谷 聖香 (くにや せいか)

北海道教育大学札幌校特設音楽科卒業。これまでに札幌交響楽団と共演。札幌新人演奏会、札幌市民ロビーコンサート、道立近代美術館コンサート、三岸好太郎美術館ミニ・リサイタル、カルチャーナイト・コンサート、星の降る里芦別映画学校(ゲスト演奏)、江別市えぽあホールオープニングコンサート、北広島市花ホールロビーコンサートなどのほか、道内外、チェコ、ベルギーなど海外での演奏会に多数出演。林靖子、遠藤道子、ラントシュ・イシュトバーンの各氏に師事。北海道ポーランド文化協会会員、全日本ピアノ指導者協会正会員。札幌大谷大学短期大学部非常勤講師。



坂田 朋優 (さかた ともまさ)

東京芸術大学を経て、同大学大学院修士課程修了。ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽アカデミー研究科修了。ABC 新人オーディション合格。日本ショパン協会主催ショパンピアノコンクールなどに入賞。2008 年帰国記念リサイタル開催後、ソロや伴奏などの演奏活動を行っている。これまでに水口奈緒美、橋本真知、菊池葉子、石田真理、小林仁、K.ギェルジヨド、M.ザグルスキの各氏に師事。札幌音楽家協議会、日本ショパン協会北海道支部、日本アレンスキー協会、北海道ポーランド文化協会各会員。札幌大谷大学非常勤講師。



長崎 結美 (ながさき ゆみ)

国立音楽大学卒業、同大学大学院音楽研究科器楽専攻修了(クワイター賞を受賞)。パリ・エコールノルマル音楽院で演奏ディプロムを取得。ムードン市音楽院にて、伴奏科及び室内楽で金メダルを受賞。2007 年アジアインターナショナルピアノアカデミー&フェスティバル(韓国)コンクール室内楽部門で金賞等、受賞多数。これまでにピアノを、渡辺健二、高市貴久枝、加藤一郎、賀集裕子、クリスチャン・イヴァルディの各氏に師事。現在、帯广大谷短期大学専任講師。



田口 綾子 (たぐち あやこ)

東京音楽大学付属高校を経て、同大学ピアノ演奏家コースを卒業。ヤマハ音楽教育システム講師と並行して、オーディション合格、第 56 回日演連推薦新人演奏会にて札幌交響楽団と協演。第 151 回札幌市民ロビーコンサートや、現在会員である日本ショパン協会北海道支部、ハイメス(北海道国際音楽交流協会)、日本アレンスキー協会、北海道ポーランド文化協会主催演奏会などに出演。2006 年ピアノリサイタル開催。ヤマハミュージックリテイリングピアノ科講師。



北海道ポーランド文化協会

1987年に設立され、初代会長は今村成和氏(元北大学長)、副会長は遠藤道子氏(元札幌大谷短期大学教授)でした。

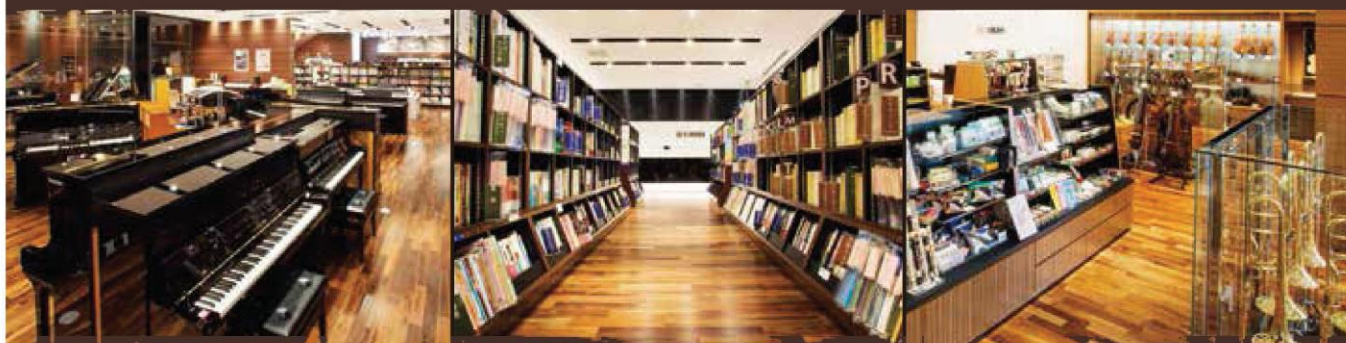
北海道とポーランドのあいだの文化交流の促進を目的とし、文学・歴史・美術・映画・音楽などポーランドの多様な文化を愛する民間団体です。2013年に「ポーランド文化功労章」を受章しました。

hokkaidopolandca@gmail.com

<http://hokkaido-poland.com/>

 YAMAHA

音楽をもっと身近に、もっと楽しく。



「音楽のある生活」で、
毎日をもっと楽しくなる。

札幌駅南口より徒歩5分。2015年7月に六花亭札幌本店3・4Fへ移転いたしました。

3Fにはグランドピアノやアップライトピアノなどのアコースティックピアノから、ハイブリッドピアノ、デジタルピアノ、そしてアビテックス(防音室)まで幅広い展示の鍵盤売場。グランドピアノを比較試弾いただける選定室もご用意しております。楽譜売場には国内楽譜・書籍の他に輸入楽譜も豊富に取り揃えております。4Fにはサクソやフルート、クラリネット、トランペット、トロンボーン、ホルンなどの管楽器売場、バイオリン・チェロなどの弦楽器売場、その他、楽器の調整修理を引き受ける管楽器リペアルームや試奏室もございます。

ヤマハミュージック 札幌店

札幌市中央区北4条西6丁目3-3 六花亭札幌本店 3F・4F

【楽譜売場】

011-252-2022

【鍵盤売場】

011-252-2023

【管・弦楽器売場】

011-252-2024

営業時間/11:00~19:00 定休日/火曜定休(祝日は営業)

3F 鍵盤売場・楽譜・アビテックス(防音室) 4F 管・弦楽器売場

<http://www.yamahamusic.jp/shop/sapporo>

※契約駐車場はございません。
お近くの駐車場をご利用ください。

